

経営比較分析表

佐賀県 武雄市

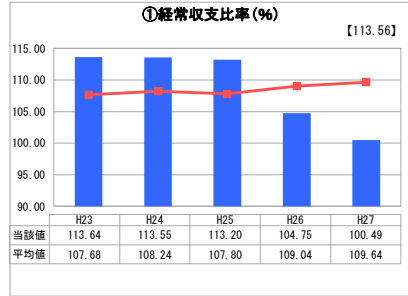
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A5
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.80	99.05	4,568

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,965	195.40	255.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
49,226	195.44	251.87

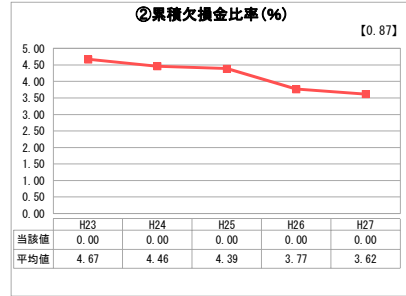
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

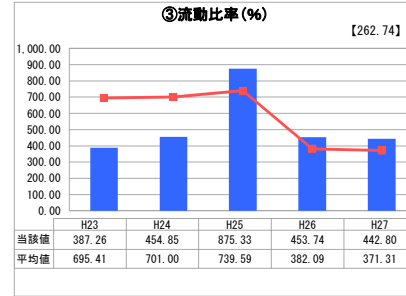
1. 経営の健全性・効率性



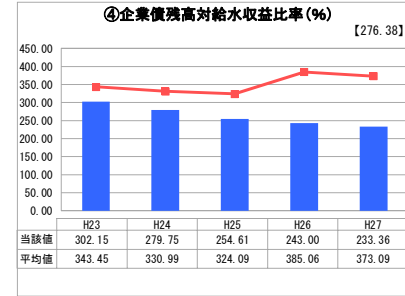
「経常損益」



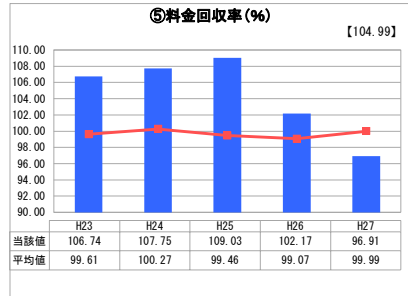
「累積欠損」



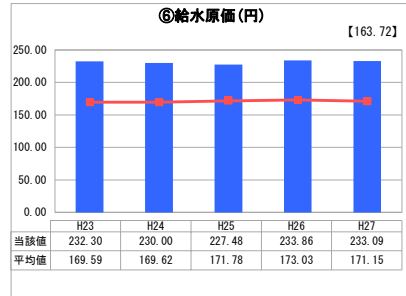
「支払能力」



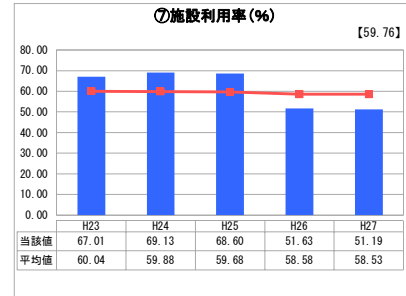
「債務残高」



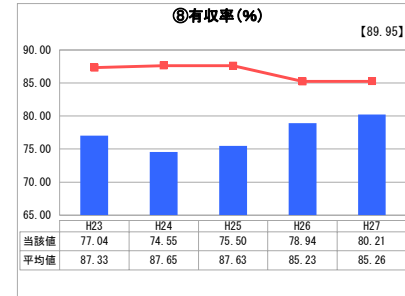
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

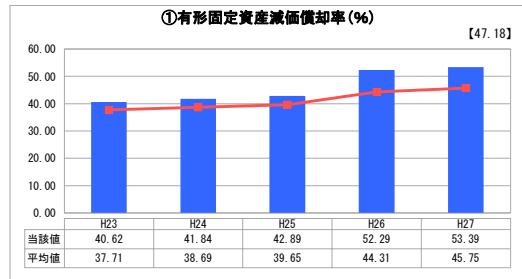


「施設の効率性」

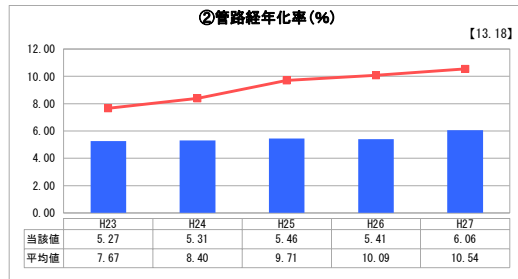


「供給した配水量の効率性」

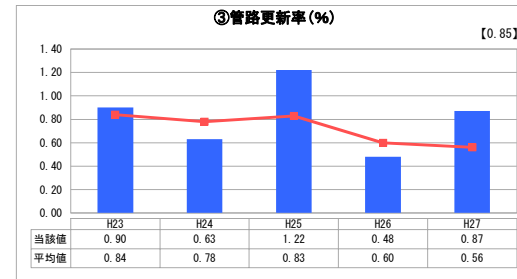
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%以上で推移し、また流動比率も高水準で推移していること等から、経営の健全性は確保できていると判断できる。
 一方、給水原価は類似団体と比較し高水準で推移しており、また平成26年10月1日の料金減額改定の影響もあり平成27年度では料金回収率が100%を下回っている。
 未収金対策も含めた料金収入確保や、有利な資材調達・計画的な建設投資による経費節減に努め、経営安定を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について平均値と同程度で推移しており、類似団体と同水準で施設の老朽化が進んでいることが判断できる。
 老朽管更新・漏水調査を継続して実施しているが、引き続き計画的な管路更新や有収率の向上に努める。

全体総括

経営は概ね安定しているが、給水人口や給水収益の減少、施設の老朽化等の課題があり、計画的・効率的な経営が求められる。
 市民負担の軽減も考慮しながら、経営努力を行うとともに施設の統廃合や広域事業統合も検討する。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。